

元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校
学校だより 第11号
令和7年3月14日

☆生まれてくる命の尊さと大切さについて考えました ～ 2年生思春期講座 ～☆

2月28日(金)に、2年生思春期講座を行いました。講話後のメイン活動である「赤ちゃん抱っこ体験」では、フィランセの保健師様とサポーター様がグループごとに講師として入り、元中生にアドバイスしてくださいました。人形とわかっていても真剣さのあまり恐る恐る抱っこしたり、おむつ替えに戸惑ったりする姿がありました。緊張のあまり乱暴になってしまった時にも、サポーターの方々自身の経験のもとに、優しく諭してくださいました。

元中生たちは、14歳になる今までにたくさんの愛情と優しさに包まれてきた喜びと幸せを、改めて感じることもできたようです。そして将来、親になった時には、その幸せを自分の子供に注いでくれると信じています。

2年1組 飛奈 さんの振り返りから

講話でみた映像では、卵子に着床する受精までの過程で3億個もの精子がほんの数個になってしまうことを知り、私たちが生まれてこれたことの命の尊さと大切さを再認識できました。その思いの中での赤ちゃんの抱っこ体験ができたのはとても貴重でした。

☆相手を大切にすることこそ 自分の人生も大切に ～ 3年生思春期講座 ～☆

3月10日(月)に、3年生思春期講座を行いました。卒業を間近に控え、これから新しい人間関係を構築していく3年生に向けて、コミュニケーションづくりや人生デザインについて、人生での選択に迫られる癌などの病気について学びました。

お互いに自分の気持ちを率直に伝え合える関係を大切にしてほしいことや命を次世代に伝えるために将来の健康づくりを考えること、たとえ癌のような病気にかかったとしても大切な人との支え合いが大切ということを学びました。より良い社会を作る一員としての意識がさらに高まったようです。

3年1組 村松 さんの振り返りから

「人」について考えを深めた学習でした。どんな状況でも「相手のことを考える」ということは、相手を「支える」「助ける」「協力する」ことにつながります。私は、相手の目をしっかり見て、「相手のことを考え」て、これからも行動していきます。

☆考えを発信する力から見えた成長 ～ 令和7年度前期生徒会本部役員選挙 ～☆

3月6日(木)に来年度の前期生徒会本部役員選挙を行いました。今回は初の試みとしてパネルディスカッション形式の討論会を通じて、立候補者の考えを伝え合いました。

問1；元中の良いところは？

答え；縦割り活動で、仲が良い。友達も先輩も親身になって気軽に相談できる。困っていたら助け合い、きちんとありがとうと言える。地域とのつながりが深い。など

問2；縦割り活動をさらに活発にさせるには？

答え；企画からみんなで考え、それを集計し、決める。地域と学生との関りがある企画を募集する。縦割りで仲良くする。壁を作らない。学年に関係なく参加。必要な活動と目標を掲げる。など

自分の考えを大勢に向けて発信する力は、これからの社会でも必要とされる力のひとつです。生徒会選挙を通じて、どの立候補者にも確実に育っている姿を見ることができました。来年度の元中生の活躍も期待できます。

来年度から後輩ができる思い 1年1組 堀内 さん

私は、行動に責任を持てる先輩でいたい。なぜなら、先輩として手本となる行動をとる場面や後輩を引っ張っていく場面が出てくるからです。さらに、後輩に対して、明るく丁寧な態度で接したいです。先輩方が示してくれた姿を受け継いで、がんばります！

☆令和6年度も様々な場面でご厚情をいただき感謝申し上げます

令和7年度も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします☆